

授業科目 臨床実習Ⅲ

【担当教員名】 湧井豊および学科全教員	対象学年	3・4	対象学科	言語
	開講時期	全期	必修・選択	必修
	単位数	12	時間数	540

<概要>

- ・学外総合実習である。
- ・学科内セミナーを実習の前後に行う  
事前セミナーでは、障害領域での評価、指導法、効果評価法を学習、演習する
- ・事後セミナーでは、症例報告書の書き方および症例の口頭発表を行う

<学習目標>

- ・言語聴覚障害の治療（指導）に必要な基礎知識や医学的知識と臨床技術との統合をはかり、言語聴覚士としての技量を要請する
- ・将来言語聴覚士を志すものとして、指導の現場で、評価、指導計画、指導の一部を実際に体験する
- ・実習で体験した症例を報告書にまとめ、かつ口頭発表する

回数	授業計画又は学習の主題		SBO
			番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1)	オリエンテーション 事前学習・演習	評価・診断、治療・指導計画案 治療・指導方法とその効果評価方法の文書の書き方	学内・セミナー
2)	学外実習	病院および施設実習 評価、診断、治療、計画、実際の治療・指導の一部を体験する	学外・配属実習
3)	まとめ 事後学習・発表	症例報告書の書き方 症例報告の口頭発表	学内・セミナー

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
参考書	言語聴覚療法 臨床マニュアル	協同医書出版社	9500円	
	ことばの障害の評価と指導	大石敬子編	大修館書店	2001年 2400円

【評価方法】 出席、実習先の評価、症例報告書 および症例発表の総合評価	【履修上の留意点】 実習日程、病院（施設）は、自習先との相談の上決定する
---	---